

平成29年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	経済財政政策運営の企画立案総合調整に必要な経費			担当部局庁	政策統括官(経済財政運営担当)			作成責任者		
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(総括担当) 参事官(経済対策・金融担当) 参事官(経済見通し担当)			黒田 岳士 佐藤 正一 植田 広信		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法第4条第1項第1～3号			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	経済動向に応じて、適切かつ機動的に経済財政運営を行うため、「経済見通しと経済財政運営の基本的態度」や「経済対策」などの企画・立案・総合調整を行うほか、時々の政策課題に応じた経済財政政策を推進する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・「経済見通しと経済財政運営の基本的態度」の策定 個別の政策を具体化する毎年度の予算編成に当たり、政策全体について経済財政運営の観点から整合性を確保する必要がある。このため、予算編成作業の前提として、経済財政運営の方針を定めるとともに、それに基づく来年度の経済の姿を明らかにするため、「経済見通しと経済財政運営の基本的態度」を閣議決定している。 ・経済対策等の策定 その時々々の経済情勢に応じ、柔軟かつ機動的な経済財政運営を行う観点から、適時適切に経済対策等を策定するため、その企画立案及び各分野の個別の政策の総合調整を行う。また、日本銀行の行う通貨及び金融の調整と政府の経済対策の基本方針との整合性の確保を図る。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額 (単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	15.4	20.8	24.2	18.5				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
		計	15.4	20.8	24.2	18.5	0			
		執行額	15.4	13	15.1					
		執行率(%)	100%	62%	62%					
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	62%	62%					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	情報処理業務庁費	14.2								
	庁費	2.9								
	職員旅費	0.7								
	委員等旅費	0.4								
	謝金	0.2								
	計	18	0							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-									

定量的な成果目標の達成が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由	定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績							
	経済財政運営の企画立案総合調整に係る必要経費であり、定量的な成果目標は設定できない。	経済対策、経済見通しの策定等により、その時々々の経済動向等に応じた適切かつ機動的な経済財政運営を行うことが目標である。26～28年度においては、各年度の予算編成作業の前提となる経済見通しを3回策定した。また、その時々々の経済動向に応じて経済対策を2回策定した。							
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	予算の効率的執行を目標とする	予算執行額 (達成率は100%に近い方が望ましい)	実績	百万円	15.4	13	14.8	-	-
			目標値	百万円	15.4	20.8	24.2	-	-
			達成度	%	100.3	62.4	61.3	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	地域の経済や産業の実情を把握するための地域懇談会の開催数	活動実績	回	22	7	0	-	-	
		当初見込み	回	12	20	15	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	経済財政運営に関する勉強会の開催回数	活動実績	件	-	-	10	-	-	
		当初見込み	件	-	-	10	20	20	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	地域懇談会の開催費必要な経費 ／ 地域懇談会の開催数	単位当たりコスト	千円	119.8	254.1	-	-	-	-
		計算式	千円/回	2156.4/22	1779.3/7	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	勉強会の開催に必要な経費 ／ 勉強会の開催数	単位当たりコスト	千円	-	-	48.9	52.9	-	
		計算式	千円/件	-	-	489.4/10	1057/20	-	
事業所管部局による点検・改善									
	項目	評価	評価に関する説明						
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	適切かつ機動的な経済財政運営は国民生活に寄与する。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	経済財政政策は国家運営の基本に関わる重要課題であり、内閣府がその企画・立案・総合調整を担当している。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	時々々の政策課題に応じた経済財政政策の推進は、国家運営にとって必要不可欠な事業である。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	「フルームハークは、刻々と変化する金融情勢を迅速かつ正確に把握することができ、マーケットに関する詳細なデータ、ニュース、統計公表スケジュール、民間予想値等の各種情報が簡易に入手が可能である。類似のデータベースでこうした包括的な情報を素早く入手できるものは見当たらないため、当該業者と随意契約を結ぶこととした。QUICKは、内外の金融・経済指標をリアルタイムで入手するとともに、市場のコンセンサスを形成する民間の経済見通しを総合的に把握することが可能である。経済見通しを作成し、経済財政運営に関する的確な判断を行うにはこれらの情報が不可欠であり、こうしたサービスを唯一提供する株式会社QUICKと随意契約を結ぶこととした。						
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	会計部署の定める規則等に基づき、適切に予算執行を行っている。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	諸謝金・庁費等の事務費については会計規則に則り適切に執行した。						
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	懇談会の開催を取りやめたため							
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	真に必要な費目・使途に限定し、コストの削減に努めている。							
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	各年度の予算編成作業の前提となる経済見通しを策定し、また、その時々々の経済動向に応じて経済対策を策定した。						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	活動指標としていた地域懇談会を休止したため、経済財政運営に関する勉強会を活動指標とした。						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	「未来への投資を実現する経済対策(平成28年8月2日)」、「平成29年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度(平成29年1月20日)」等の成果物は、我が国の経済財政運営及び予算編成作業に資する内容となっている。						

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	デフレ脱却と経済再生を図ることが政府の主要政策課題の一つとなっており、適切かつ機動的な経済政策運営を行うとともに、日本銀行との政策連携等を行っていくことが重要である。こうした課題の実現に向けた取組を行うため、適切な予算執行を実施している。				
	改善の方向性	引き続き効果的・効率的な予算執行に努める。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
「未来への投資を実現する経済対策(平成28年8月2日)」 http://www5.cao.go.jp/keizai1/keizaitaisaku/2016/20160802_taisaku.pdf 「平成29年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度(平成29年1月20日)」 http://www5.cao.go.jp/keizai1/mitoshi/mitoshi.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	0024	平成23年度	0029	平成24年度	0018	
平成25年度	0120	平成26年度	0118	平成27年度	0129	
平成28年度	0124					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣府
15百万円

経済動向に応じて、適切かつ機動的に経済財政運営を行うため、「経済見通しと経済財政運営の基本的態度」や「経済対策」などの企画・立案・総合調整を行うほか、時々の政策課題に応じた経済政策を推進する。

【一般競争契約(最低価格)】

A. 富士ゼロックス(株)
5百万円

・四半期別GDP速報公表に伴う作業室における端末及び複合機等の借入及び設置・撤去を実施

【随意契約(その他)】

B. (株)QUICK
5百万円

・世界の証券・金融情報はじめ、政治・経済情報をリアルタイムで配信

【随意契約(その他)】

C. ブルームバーグL. P
3百万円

・世界の経済・金融関連のリアルタイムデータ、ニュースの配信およびそれらの分析機能を備えたプラットフォーム

【随意契約(少額)】

D. 諸謝金・庁費・旅費等
2百万円

・会議における有識者に対する諸謝金
・会議運営経費
・経済動向や経済政策の効果等についての実態調査 等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 〔「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載〕	A. 富士ゼロックス(株)			B. (株)QUICK		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	端末及び複合機等の借入及び設置・撤去	4.8	雑役務費	サービスの利用、機器のレンタルにかかる経費	4.6
計		4.8	計		4.6	
	C. ブルームバーグL.P.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
雑役務費	サービスの利用、機器のレンタルにかかる経費	3.1	-	-	-	
計		3.1	計		0	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	富士ゼロックス(株)	3010401026805	端末及び複合機等の借入及び設置・撤去	4.8	一般競争契約 (最低価格)	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)QUICK	4010001015075	サービスの利用、機器のレンタルにかかる経費	4.6	随意契約 (その他)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ブルームバーグL.P.	8700150002453	サービスの利用、機器のレンタルにかかる経費	3.1	随意契約 (その他)	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人 共同通信社	4010405008740	「会見全文速報」配信サービス	0.9	随意契約 (少額)	-	-	
2	(株)ブルーホップ	6010001056290	第193回国会における石原内閣府特命担当大臣(経済財政政策)の経済演説の印刷	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
3	個人A	-	平成28年熊本地震の被害実態の視察、企業関係者等の意見交換に係る出張旅費	0.1	その他	-	-	
4	富士ゼロックス(株)	3010401026805	複写機の移動・設置作業	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
5	個人B	-	大臣随行のための出張旅費	0.1	その他	-	-	
6	個人C	-	大臣随行のための出張旅費	0.1	その他	-	-	
7	個人D	-	人事担当者との打合せ、講演等のための出張旅費	0.1	その他	-	-	
8	個人E	-	大臣随行のための出張旅費	0.1	その他	-	-	
9	(株)膳栄社	8010001024865	経済見通しと経済財政運営の基本的態度の印刷	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
10	(株)長谷システムズ	8010401037161	経済見通し参考資料の印刷	0.1	随意契約 (少額)	-	-	